

ENOKI

えのき



「春よ来い。早く来い」と、春の足音を待ちわびて、長い冬がやっと終止符を打ったかのようなこの日、暖かな春の陽さしを感じながら、一路多摩動物公園へと出発しました。

総勢172名、その中に幼児、小学生が30名、中高生は5名参加しました。

電車の3回乗り換えに「また、乗り換えなの」という声もありましたが、担当の育成委員の念入りな実踏と打合せにより、待ち時間もなくスムーズに目的地に到着しました。集団で歩く距離も短く、参加人数も例年より少なかったこともあり、あまり疲労を感じない「のんびり歩こう会」となり「のんびり過ぎて良かった」、「また、来年も参加しよう」と、帰路の車中で話していたグループもありました。

今回は、多くのお子さんの参加を期待して育成委員が、目的地の選定に配慮したと伺っております。例年になく、お子さん連れの家族がたくさん参加いただいたことは、とてもうれしいことでした。

園内では、子どもさんたちはライオンバスに乗車。町会毎、家族毎に分散して、マップを手に、会いたい動物のエリアへ。お弁当を広げ楽しく話そうグループ、動物たちの仕草や動きに笑ったり、歓声をあげたり、お子さんを抱きかかえ、おサルさんを見入っている親子のほのぼのとした光景をたくさん目にした、穏やかな陽春の光を浴びた一日でした。

主催関係者のご苦労ときめ細やかな引率に心より感謝申し上げます。

江戸川スピリッツ

「牛込A地区

親善少年野球大会」

1部で優勝！

江戸川スピリッツは、江戸川小学校をホームとする創立40年の少年野球チームです。近年部員数減少に悩みながらも、地域の少年野球を途絶えさせないよう、がんばっています。

この度、大京町キングスさんとの合同チームにより、「牛込A地区親善少年野球大会」で30年ぶりに一部優勝を

果たしました。ピッチャーの粘り強い投球、脚を絡め、少ないチャンスを生かした得点、ベンチも声が出て、選手、コーチ、応援団の全てが一つにまとまって勝ち取った優勝でした。この勝利を糧に、今後も益々良きチーム作りを目指していきますので地域の皆様、引き続き応援をよろしくお願いいたします。スピリッツは江戸川小学校の校庭を拠点として活動しています。お子さんや保護者の方も、お気軽に練習を見に来てください。お待ちしております！

(江戸川スピリッツ一同)



2月19日(日)江戸川スピリッツ

江戸川小学校

弟子入り体験

キャリア教育の一環として、本校の5年生が地藏通り商店街にご協力いただき、いろいろなお店で実際に働かせていただく「弟子入り体験」が実施されました。

昔ながらの下町の風情を残す地藏通り商店街には、お茶屋さん、せんべい屋さん、パン屋さん、美容室、クリーニング屋さん、たい焼き屋さん、洋服屋さんなど、さまざまなお店が建ち並んでいます。

5年生は、初めての体験にワクワクドキドキしながら与えられた仕事を一生懸命こなしていました。お店で実際に働かせていただく機会は、子どもたちにとって大変貴重な経験となりました。

お客さんに取材のために写真を撮らせてほしいとお願いすると「恥ずかしいな」とテレながら「私は江戸川の卒業生なので、後輩のためにと言われると断れないな」と言ってくれました。

商店街の皆さんの「弟子入り体験」に対する心遣いを感じる事ができ、地域が子どもたちの成長に手を貸してくださるご好意に感謝いたします。



早稲田地区青少年育成委員会

榎クリーンデー

3月4日(日)、毎年恒例の榎地区一斉清掃が行なわれました。学校、町会、PTA等が協力し、「自分たちの住む町は自分たちできれいに！」を合言葉に、昨年より100名程多い、653名(内、幼児と小・中学生は132名)が参加しました。

例年多いのが、タバコの吸い殻、空き缶、ペットボトル等です。各自がマナーを守れば、路上のゴミは減ります。

皆さんで榎地区をクリーンで住みよい町にしましょう。

第10回

みんな集まれ！釣り大会

小・中学生が市ヶ谷の釣り堀に集まり、鯉釣りの釣果を競い合います。

ご家族と一緒に釣り大会をお楽しみください。

●日 時：6月17日(日)

雨天の時は6月24日(日)

●場 所：市ヶ谷フィッシュセンター

●集 合：午前8時15分

各小学校校門

●参加費：無 料

●主 催：早稲田地区

青少年育成委員会

*申し込みや詳細については、5月末に学校から配布される案内・申込み書をご覧ください。

学童クラブ
子どもひろばを訪ねて ③

鶴巻小子どもひろば

新宿区内の放課後子どもひろばは、平成19年に小学校6校で始まり、現在では区内のすべての小学校で行われています。鶴巻小子どもひろばは、19年のスタート時から実施されており、今では児童や地域にすっかり定着していると言えます。



● スタッフ5人がお手伝い

管理責任者1名、遊び支援者3名、学び支援者1名の計5人が子どもたちの見守りと遊び・学びのお手伝いをします。その他に、地域ボランティアの方々も呼び掛けており、「綺羅の会」という地域のグループが「お話の会」を70回以上も開催してくれており、子どもたちもとても楽しみにしています。

● 学校側もとても協力的

学校ひろばは、学校施設の中で実施されるので、学校側と良い協力関係がないとうまくいきません。区内の小学校の中には、放課後や長期休みの場合は、生徒でも学校の図書館を利用できないところもあるのですが、鶴巻小学校では学校ひろばスタッフの指導の下、長期休み期間中も多目的教室や学校図書館、校庭を自由に利用することができます。鶴巻小学校は、全学年一クラスの小規模校ですが、小規模校の良さを生かし、子どもたちにはとてもゆったりとした教育環境となっていると言えます。

● 利用できる時間、費用は？

基本的には、月曜日から金曜日の一年生の放課後から18時までです。学校がお休みの日、夏休み、春休みの長期休暇の日は、10時から18時までです。学校がお休みの日は、お弁当持参で学校内で食べるか、家に食べに戻り、また登校します。基本的に登録制で、損害保険の加入費用として、年間200円を負担します。放課後、直に参加する場合と、一旦家に帰ってから参加する場合は、事前に話し合ってくださいでも可能です。鶴巻小子どもひろばには、全校児童144名の内、132名が登録し、学童クラブとダブっている子どももいます。

高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

②

現在、榎地区には20のクラブがあり、活発に活動しています(左表)

- 入会資格 区内在住の58歳以上の方
- 入会の相談先

- 区役所高齢者福祉課 高齢者事業係
- 牛込地区連合会常任理事
- 松本光次さん(早稲田鶴巻町)
- 鈴木米子さん(山吹町)
- 近隣の高齢者クラブ役員・会員(ご不明の場合は、お近くの町会役員にもお問い合わせください)

クラブNo.	クラブ名	対象地域
22	榎町友の会	榎町、東榎町
23	原一あゆみ会	原町一丁目
24	水の原クラブ	原町三丁目
25	白寿会	喜久井町
27	弁天町和老クラブ	弁天町
29	山吹会	山吹町
30	早稲田クラブ	馬場下町、早稲田町
31	西鶴クラブ	鶴巻町西町会
32	早稲田長寿会	鶴巻町南町会
33	早稲田永楽会	鶴巻町北町会
34	第一友鶴会	鶴巻町東町会東部
35	第二友鶴会	鶴巻町東町会西部
125	薬王寺第一長寿会	市谷薬王寺町1〜60、79〜85
126	薬王寺第二長寿会	市谷薬王寺町63〜78
127	牛込心友会	天神町
130	あかぎ友の会	赤城下町
141	原二わらく会	原町二丁目
147	新宿区盲老人六ツ星会	区全域
149	柳町すみれ会	市谷柳町
157	早南クラブ	早稲田南町



フラダンス 4月8日(日) 鶴巻町フェスティバル

白井さんはその長年の経験を元に、色々な料理に合わせられる万能味噌を独自に開発して販売を始めました。この万能味噌の他に鶏味噌、きのこ&たけのこ、ニンニク芽、他の味噌を予定しています。万能味噌は野菜ごはんや肉料理につけてもおもしろく、色々な料理に合わせられるのでおすすめです。

白井さんは年に2回、早大通りで開催される鶴巻町フェスティバルの役員としても活躍されています。奥様は地域でハワイアンダンスチームを結成。フェスティバル会場でフラダンスを披露しています。



磨み土 ☎03-3209-3616



「磨み土」のスタッフは牛込二中の卒業生

炭火焼居酒屋「磨み土」のお店のオーナー、白井達昌さんと店長の小柳正也さん、店員の川島尊世さんと白井裕也さん(長男)は牛込第二中学校の卒業生です。

牛込二中の卒業生や榎地域のスポーツチームの同士、小中学校のPTAの皆さんが時折、お客さんとして「磨み土」にいらっしゃるそうです。

★ ★ ★

白井さんは、昭和61年に早大通りにハワイアン・レストラン「イル・デ・パン」を開店。続いて平成4年にはラーメン処「竜の子亭」を開店し、平成13年に三軒目となる炭火焼居酒屋「磨み土」を開店しました。このお店のおすすめメニューは炭火を使ってお焼きあげた創作料理です。

秘伝の万能味噌



秘伝の万能味噌

磨み土

炭火焼のお店のオーナーと店長と店員は牛込二中の卒業生で地域の同士が集う店



えのき合唱団

榎町地域センター 開館十周年 音楽祭

3月18日(日)、榎町地域センター開館十周年を記念し、センターをご利用されている登録団体の皆さまにご協力をいただいて「音楽祭」を開催いたしました。

クラシックから童謡まで、幅広いジャンルの曲の演奏と合唱を聴くことができ、文化の香り漂う楽しいひとときを過ごしました。

出演された皆さま、来場いただいた大勢の皆さま、ありがとうございました。

出演団体
● 早稲田スマイル合唱団
● 新宿H A H A h a 倶楽部
● マドンナ・カンタービレ
● えのき合唱団



きねでもちをつく前に、蒸かし上がった熱いもち米を突き棒でついていく。

昔あそびもちもちの会

東日本大震災から1年目の3月11日(日)、第5回「昔あそび・もちもちの会」を、震災復興応援として、牛込第二中学校で実施しました。昨年は大地震で中止となりましたが、今年は復興の願いを込め、「もちつき」は東北の米を使用し、参加者に義援金を募りました。

200名を超える大勢の参加応援、協力がありました。参加者は中学生がついた、つきたてのおいしいお餅を食べ、凧作り、コマまわし、羽子板、折り紙等の「伝統あそび」に興じました。子どもたちの手作り凧は、中学校の広々としたグラウンドの空を気持ちよさそうに上げていました。東北に向かっていっているのでしょか。皆の元気が風に乗って、被災地に届きますように！

参加者の思いが込められた義援金、15,738円は、社会福祉協議会に委託いたしました。(早稲田地区青少年育成委員会)

おすすめ春の散歩道

神田川

以前、飯田橋から隅田川への出口、柳橋までの散歩コースを紹介しましたが、今回は小滝橋を出発点として、上流の淀橋までを散歩してみましよう。小滝橋を出発点としたのは、幾系統ものバスが集中していて皆さんが利用しやすい所だからです。

小滝橋から川岸を下流へ300メートル程下り、せせらぎの里に向かいます。ここには流れと池があり、水は落水水再生センターで処理されたきれいな水で夏は付近の保育園児が水遊びにきています。対岸に渡り、小滝橋に戻り、早稲田通りを渡り、神田上水公園に入ります。500メートル程の細長い公園で、随所にベンチなどもあり、休憩する所には不自由せず、トイレにもこまりません。神田川は小滝橋から菫蒲橋の間は、左岸は中野区、右岸は新宿区となっています。中野区側を歩くのも気分が変わります。

中央線のガードをくぐります。大久保通りを過ぎるころから、川は東西に流れ、陽光燦々と春の散歩にはもってこいの場所です。

このコースの特徴は幹線道路を歩くわけではなく、騒音に悩ませられこともなく行き交う人も少なく静かなことです。新宿区と中野区を通過し杉並区に入り、水源の三鷹市の井の頭公園まで。一度チャレンジしてみたいかがでしょう。



せせらぎの里 流れも池もあり、緑も豊富で明るく静かな公園である。



花時は言うに及ばず、久保前橋辺りは桜紅葉が鮮やか。色彩に乏しいこの時期にはありがたい。



神田上水公園は石組みの流れが作られており神田川に沿って細長く、静かに散歩を楽しめる。



所々に不思議な形のものや遊具が有り、静かに散歩を楽しむ人が見られる。



J R中央線の鉄橋。川は新開橋までほぼ直線で、左方向J R東中野駅が近い。



伏見橋辺りでは、空がひらけ西新宿の高層ビル群がそびえるのが眺められる。



神田川は蛇行をしながら、井の頭公園まで続く。



『淀橋』は三代将軍家光が名付けたと言われている。



随所に植栽も多く、つつじが美しい。

専行寺

(せんぎょうじ)

地下鉄大江戸線牛込柳町駅の西口出口を出て、大久保通りを若松町交差点に向かって二〇メートルほど行くと、右に入る道が目に入ります。この道を五〇メートルほど進むとめざす専行寺があります。

専行寺の開基・成覚坊釋了察法師は、甲州・武田家臣と伝えられ、元和六年(一六二〇)武蔵国豊島郡江戸番町三丁目目谷六丁目(現在の千代田区二番町、日本テレビ付近)に寺を創建され、その後寛永年間に攝取山・専行寺と号するようになりました。享保二年(一七一七)同地で類焼に遭い、翌年新宿区原町の現今の地(願正寺拝領地)に移転しました。

安政六年(一八五九)青山に出火して牛込西部から音羽まで焼き尽くされた大火によって全焼するなどの災難に見舞われました。関東大震災・第二次世界大戦では難を逃れましたが、歴史を伝える木造の本堂・庫裡などの建物は、近年老朽化が進みましましたので昭和五十一年(一九七七)に再建されました。

● 御本尊・阿弥陀如来立像(木造)

高さ五一センチ。肩幅一四センチ。当寺に寶永五年以降の過去帳があり、その第一巻の冒頭に「抑当寺の本尊、慈覚大師の御作也。御身長七尺七寸六分、海内無二之靈像、東山真如堂如来御同作而松木一刀正禮御彫刻の尊像也」と記されています。

● 阿弥陀如来立像(金銅仏)

高さ三七・二センチ。両手首より先を除いて頭・体部共に一鑄。左手は別鑄して差込み、欠失していましたが、最近仏師の手により修復され、儼かな姿を再現しています。中空の像内には鑄型土が残っています。火災にあつたためか、像の背面下部が大きく傷み、正面にもやや歪みが見られます。膚もやや荒れていますが、全体のバランスのとれた擬古作風の像で、面貌もしっかりしています。前掲の過去帳に、八世住持法雲と中里町の亀吉の妻とが半金ずつ出しあつて、安政五年(一八五八)に本像を奉納したとの記事がありますので、これ以前に造立されたことがわかります。

● 御内仏御本尊・阿弥陀如来立像(木造)

高さ二二・五センチ。前掲過去帳に「木佛は尾州家浅井氏より當寺内仏の本尊と交易に致即内仏の本尊と朝夕奉給仕不退恭敬の尊像也」と記されています。

そのほか、蓮如筆十六字名号掛軸、当寺と縁の深かった日本画家・松林桂月(一八七六〜一九六三)の掛軸などが所蔵されています。



真宗大谷派 専行寺(せんぎょうじ)
新宿区原町3-26
Tel.(3203)7625

地域ふれあい分科会

榎ふれあいデー

毎月第一日曜日
午後1時〜午後3時30分
早大通りにて実施(雨天中止)
5月6日(日)

大きな鯉のぼりを揚げよう!
クラフト(紙飛行機他)遊び

6月3日(日)

ハンドベル演奏(早稲田ノエルズ) しゃぼん玉

7月1日(日)

七夕がざり・折り紙
*毎回「昔遊び」「輪投げ」を用意しています。皆で遊びにきてね!

榎ふれあい

クッキング

お菓子作り

日時：7月22日(日)予定

場所：榎町地域センター
3階 調理室

①午前9時30分〜 親子
②午後1時30分〜 中学生〜大人
*申し込み等の詳細は、各町会の掲示板にてお知らせします。

榎地区協議会からのお知らせ

地域活性化分科会

第8回

歴史と文化のまち歩き 参加者募集

日時：5月20日(日)

午前9時 集合
正午終了予定

集合：榎町地域センター
2階 和室

定員：30名(先着順)

参加費：無料

参加申込

4月23日(月)〜

5月11日(金)

平日午前10時〜

午後5時まで

榎町特別出張所
中野、富樫まで

Tel.(3202)2461

まち歩きのコース

榎町地域センター

宗参寺

太平洋戦争
被爆1号の地

漱石公園

大隈講堂

有島武郎旧居跡

大隈庭園

喜久井町観音

演劇博物館
(30分見学)

早稲田大学
理工学研究所

中山安兵衛助太刀碑

誓閑寺

穴八幡宮

夏目漱石誕生の地

交流会

まち歩き終了後に委員とご希望の参加者との昼食をとりながらの交流会を予定しております。ご希望の方はお申し込みください。

災害に備えての サバイバルウォーク講習会

榎地区協議会、地域活性化分科会では、昨年度の東日本大震災を受けて、地域の防災力向上をテーマに議論しています。

昨年10月に実施した防災ワークショップに引き続き、3月17日(土)に地域活性塾として「サバイバルウォーク講習会」を開催しました。

平井危機管理課長による「3・11その時新宿区内で何が起きたか?」の公演会と早稲田大学スポーツ科学学術院中村教授による「長距離を楽に長く歩くコツ」の講習会を行いました。

震災後は交通機関が長期間使用できなくなることからウォーキング中心の生活となることが予想されます。被災時に備えて帽子とウォーキングシューズを揃えておくこと、足に豆がでない工夫や歩く姿勢を保つ秘訣など、ウォーキングの基本を学ぶことができ、大変参考になりました。

(榎地区協議会地域活性化分科会)



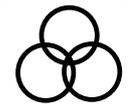
スポーツ交流会

のお知らせ

ユニカール



輪投げ



日時 ①5月6日(日)
②6月3日(日)
③7月1日(日)

①③午前10時～12時

会場 榎町地域センター
4階多目的ホール

卓球



日時 ①5月6日(日)
②6月3日(日)
③7月1日(日)

①③午前10時～12時

会場 鶴巻小学校体育館

卓球の用具は用意してあります。初心者もお気軽にご参加ください。

ユニカール・輪投げ・卓球のいずれも

参加費 無料

申込み 必要ありません

問合せ 黒川孔晴

Tel(3268)1777

主催 わせたスポーツ文化協議会

地域センターからの お知らせ

ワンコインえのき寄席 「若手落語会」

ワンコインえのき寄席
「若手落語会」

日時 6月24日(日)
開場 午後2時30分
開演 午後3時

会場 榎町地域センター
4階多目的ホール

入場料 500円

定員 120名

出演 春雨や雷太
三遊亭きつつき

*チケットは5月1日(火)より榎町地域センター2階事務局で販売します。

納涼カラオケ大会

日時 7月29日(日)

午前10時～午後4時

会場 榎町地域センター
4階多目的ホール

募集 72名

参加費 300円

申込み 6月24日(日)
午前10時より受付

榎町地域センター3階
調理室・工芸美術室

*申込書は5月16日(水)より榎町地域センター2階事務局に設置します。

榎町地域センター 管理運営委員の募集

榎町地域センターは、区から指定管理者として選定された「榎町地域センター管理運営委員会」が管理運営を行っています。つきましては、左記のとおり委員の一部を公募しますのでお知らせします。

● 応募資格 榎町特別出張所管内に在住の方

● 任期 3年

● 募集人員 13名

● 応募方法 所定申込書に記入の上、榎町地域センター管理運営委員会事務局へ提出してください。

*詳細は、榎町地域センター管理運営委員会事務局にお問い合わせください。
Tel(3202)8585

◇榎町地域センター2階和室の坪庭



和室をご利用になったことのある方はお気づきのことでしょう。坪庭の石版に見えるものは、実はたくさんの金属の活版用の活字棒を組み合わせて創ったものです。印刷の町ならではの創意と工夫がここにも生かされています。



俳句

一瞬に故郷見たり牡丹雪

飯本もと子

紅梅や子の押してゆく車椅子

加藤理君

雛飾りつつ気がつけば雛の歌

軽部とみ子

春禽の声に遊具の光りけり

金子陽次郎

しがらみをくるりと躲し流し雛

川口あきを

彼岸会や無縁佛に香りたつ

倉林知子

暖かや掃く手休まずやすまずに

小池よし枝

激震に苦しむ人にこそ花見

後藤登喜

誇らしき顔となりたり入学児

佐藤琴美

吊し雛一針一針母の愛

菅原美智子

よちよちの子の行く先に雀の子

中村章子



人生の余録に神がくれた恋

ダイエットに反抗をする腹時計

伊藤三十六

譲られてなにやら寂しバスの席

酒飲んで百年の憂さ忘れ去り

菅野あきら

人生はノンフィクションと言うドラマ

名を付けて領土を主張する孤島

小山一湖

肩書きと仕事の量は反比例

政治には関係ないよメダル云い

高橋凡吾郎

晩ごはん会話が弾みおいしいね

ことばよりメールが先に飛んで行く

田実 孜

「えのき文芸」に掲載する句を募集しています。皆さんの身近にあることから「五・七・五」の句にしてみませんか。次号の俳句のお題は『夏』、川柳は『自由吟』です。
投稿はハガキかファックスに、俳句、川柳の別を明記の上、6月14日(木)までに榎町地域センター事務局までお送りください。

春の花

レンギョウ▶

落葉性の高さ1.5～2メートルの低木で花期は4月頃、中国原産。多くの長い枝を出し全枝を黄色い花を咲かせる。

ライラック

花期は5～6月頃、高さ6～7メートルぐらいになる落葉性の樹木。花の色は淡紫のほかに白、赤、青、紫色などがあり八重咲きもある。



広報部からのお知らせ

「えのき」では毎号、榎町地域センターの登録団体の紹介をしています。

掲載いただける団体の募集をしています。

会員の募集や活動の様子、連絡先など、300字以内の原稿を添えて、お申し込みください。

「家族の肖像」「技の伝承」の企画記事に登場していただけた方の情報をお寄せください。

「えのき」の編集委員を募集しています。地域の情報に関心をお持ちの方、また詳しい方、ぜひ広報委員となつて広報誌づくりにご協力ください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問合せ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せください。

〒162-0042

新宿区早稲田町85

TEL (3202) 8585

Fax (3202) 2478